

第 242 号 学校だより

令和 8 年度 第 5 号
令和 8 年 8 月 24 日発行



札幌市立屯田北中学校

〒002-0859

札幌市北区屯田 9 条 4 丁目 2-1

TEL : 775-5111

<https://www.tondenkita-j.sapporo-c.ed.jp/>



2 学期のはじめに

校長 山口 貴治

皆さん、おはようございます。昨年よりは厳しい暑さが少し和らいだ印象の夏休みでしたが、充実した 1 か月となったでしょうか。休み明けはペースがつかめず、調子が上がらないこともあるかと思います。月曜日スタートとなった今週は、少しずつ身体と心を整えていければよいですね。

さて、今日は「学校のよさ」について、2 つお話しします。長い 2 学期、登校時の皆さんの足が少しでも軽やかになればと思い、考えてみました。

1 つは、学校には皆さんの心を動かす「面白さ」があふれているという点です。ここでいう面白さとは「知的好奇心」ということで、特に学校生活の大部分を占める授業時間には、皆さんの心を動かしたり興味関心をひく瞬間があるはずです。家庭学習やインターネットの情報からも知識は得られますが、学校では皆さんの好き嫌いに関わらず多様な学問が、「授業」という形で目の前に現れます。それが、皆さんの可能性を広げることにつながるのです。私自身も学生時代、音楽や美術の授業で、面白かった瞬間や自分の意外な一面を知る経験がありました。点数や成績という結果も大切ですが、授業を受ける態度を整え心を開いておくと、面白さに出会うチャンスが広がりますので、参考にしてください。

第 2 に、学校は「自分とは異なる他者と出会い、共に成長する場所」だという点です。世の中には様々な価値観をもつ人がいます。ときには人間関係で疲れたり、面倒だと感じたりすることもあるでしょう。しかし、同じ場で生活し、時間をかけて互いの特長を知り、どうコミュニケーションをとればよいのかを模索する経験は、社会に出るための大切なことです。学級という集団は、そのための小さな「社会の縮図」です。また、1 人では味わえない一体感や喜びを感じられるのも、学校ならではの醍醐味です。2 学期はスポーツ大会や北中祭といった大きな行事が控えています。同世代の仲間と共に汗を流し、高め合う中で、より人間として深みのある成長を遂げてくれることを期待しています。

最後に別の話題を 1 つ。

先日、100 名ほどの校長先生の前で議長を務めた際、自己紹介で今年度大切にしている言葉を伝えました。いきなり披露すると、「何のこと?」「また言っているな」と一瞬ざわつき、その後、笑いが広がるのですが、2 学期始業式の間でも、改めて言わせてください。

「風の杜、笑顔広がり 凛々しく 強く」

言い続けると忘れてしまいそうなので、改めてお伝えしました。

それでは今学期もよろしくお願いします。

教育実習生のご紹介

8/24～9/18（1名～9/4）の間、大学より5名の教育実習生が将来、教師になるための実習を行います。ご紹介します。

- ・A（社会、1-5）※～9/4
- ・B（数学、1-4）
- ・C（養教・保体、1-1）
- ・D（国語、2-1）
- ・E（国語、3-6）



夏休み中の活動報告

夏季休業中に行われた諸活動をお知らせいたします

- ・吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール 北海道予選 札幌地区大会で銀賞を受賞
- ・野球部 北区新人戦で予選敗退
- ・ソフトテニス部 中体連新人戦 男子個人 ダブルス 全市ベスト16
- ・バドミントン部 中体連 全道大会 女子団体 1回戦突破 2回戦敗退
- ・生徒会 さっぽろっ子サミットに参加し、市内中学校の代表と交流
- ・卓球部 札幌選手権（カデットの部）1,2年男女2名ずつ全道大会に出場
札幌選手権（ジュニアの部）3年生男女とも1,2回戦で敗退
- ・陸上競技部 第57回北海道中学校陸上競技大会

男子110mH 準決勝進出

第14回札幌中学校陸上競技選手権大会

男子共通110mH 優勝

男子A走幅跳 第5位

女子共通三段跳 第5位

女子B走幅跳 第2位

女子共通100mH 第7位

男子B走幅跳 第4位

女子B砲丸投 第7位



第55回札幌市中学校体育連盟陸上競技新人戦大会

男子四種競技 優勝 →全道大会出場

男子走高跳 第4位 →全道大会出場

女子砲丸投 第5位 →全道大会出場

男子4×100mR 第8位 →全道大会出場

